



1月号 平成30年1月9日発行

窪田小だより

横浜市都筑区窪田南町694番地 [Tel.911-0149]

アドレス [http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]



スタンドアローン (Stand Alone)

校長 澤田 有子

新しい年が始まりました。明けましておめでとうございます。

2018年が、皆様にとりまして希望にあふれるよき一年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

本年も窪田小の子どもたちが健やかに成長していけるよう職員一同力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしく
お願い申し上げます。

昨今「スタンドアローン」という言葉を耳にすることが多くなりました。多くの場合、ネットワークに接続しないで、単独で独立して動作するハードウェアやソフトウェアを指す言葉に使われていますが、言葉の意味としては、「独りで立てる」「つかまらずに立てる」、「無類の」「並ぶものがない」と、辞書には書かれています。私がこの言葉を強く意識するようになったのは、NHKドラマ『坂の上の雲』のメインテーマ曲(作曲:久石譲 作詞:小山薫堂)として広く知られるようになってからです。初めてこの曲を聴いた時には、司馬遼太郎氏の原作を初めて読んだ時のような衝撃を感じたことを記憶しています。

「彼らは、明治という時代人の体質で、前をのみ見つめながら歩く。のぼっていく坂の上の青い天に
もし一朵の白い雲が輝いているとすれば、それのみを見つめて坂をのぼっていくであろう。」

スタンドアローン=独りでも立てる の力を蓄えることができたならば、そして、
広くネットワークをつなぐことができたならば、青い天にどんな白い雲が見えるの
でしょうか。

「わたしは信じる 新たな時がめぐる
凜として旅立つ 一朵の雲を目指し」

— われらは、窪田小学校で培った気質で、前をのみ見つめながら歩く —

田んぼの神様にいただいた『幸運の窪田米』
の重さをびたりと当てると、当てた人にも、
その人の家族や周りにいる人たちにも、幸運
が訪れるという言い伝え。新たな「窪田小
伝説」の始まりです。あはははははと笑いな
がらこの伝説を愉しみたいものです。

体力向上にむけて



今年度の新たな取組として、毎週金曜の朝(12月~3月)、自由参加で『短縄跳び』を行っています。音楽に誘われて校庭に出てきた子どもたちは、冷たい風も何のその、いろいろな跳び方に挑戦しています。筋力や持久力、巧緻性や敏捷性がつくことを願っています。

